

ふるがき糖尿病内科医院様(千葉県東金市)



専門性の高いクリニックの検査データと疾病管理に Medicom-HRⅡが貢献

2013年6月に開業した「ふるがき糖尿病内科医院」は、糖尿病や甲状腺、循環器等の複数の専門医が対応する専門性の高いクリニックです。地域の糖尿病外来センターの役割を担う同院は、院内における検査体制を充実させています。各種検査機器と医事一体型電子カルテシステム「Medicom-HRⅡ」を連携し、検査会社とのオンライン化も実現。業務効率化と患者さんの疾病管理に電子カルテが大きく貢献しています。

メディコムで実現した検査業務の一元化と効率化 千葉県山武地域の糖尿病外来センターの役割を担う

ふるがき糖尿病内科医院 院長 古垣 齊拡先生

鹿児島出身の古垣齊拡院長は、奄美の中核病院勤務、離島医療従事を経て、糖尿病の地域医療に積極的に取り組む千葉県立東金病院で糖尿病のスペシャリストになるべく研鑽。2014年3月の東金病院閉鎖を控え、開業しました。「新たに開設される東千葉メディカルセンターは救急・急性期医療中心になる見込みで、山武医療圏に糖尿病専門医がいなくなります。これまでの多くの患者さんを支えるために、この地で開業に至りました」と古垣先生は経緯を語ります。

糖尿病は虚血性心疾患や脳梗塞、糖尿病性腎症など重大な合併症リスクが高いため、古垣先生の専門である内分泌科、糖尿病に加え、循環器科などの専門外来診療の体制を整えているのが、同院の大きな特徴。特に狭心症や心筋梗塞カテーテル治療で日本トップクラスの実績を持つ三角和雄先生（千葉西総合病院院長）が非常勤で循環器外来を担当するなど、4人の専門医が診療にあたっています。糖尿病の適切なコントロールや様々な合併症対応・重症化予防には、定期的な検査をベースにした疾病管理が重要です。「患者さんのほとんどが外来のたびに検査するため、できるだけ院内検査を充実させて結果を迅速に診療に役立てることが必要。疾病管理をきちんと行うために、検査機器の充実と効率的なデータ管理が重要で



あり、電子カルテ導入は必須と考えていました」と古垣先生は言います。HbA1cやグルコース、末梢血液検査のための機器をはじめ、尿検査装置、CAVI（動脈硬化度）や心電図を測定する血圧脈波検査装置、超音波検査装置などを院内でそろえるとともに、検査会社への検査依頼・結果の取り込みをオンライン化した体制を整備。Medicom-HRⅡで検査データを統合管理し、効率的・効果的な疾病管理に役立てています。「患者さんは毎月増加しており、今後は検査会社と協力して疾病管理マップを用いた患者さんの層別化を行い、効果的な介入を実現していきたいと考えています」と今後の展望を語られました。

ふるがき糖尿病内科医院



診療科目：内科、内分泌代謝科、小児科
電子カルテ導入日：2013年6月

ふるがき糖尿病内科医院
千葉県東金市田間262-2



ふるがき糖尿病内科医院 院長 古垣 斉拡先生

電子カルテ導入の決め手

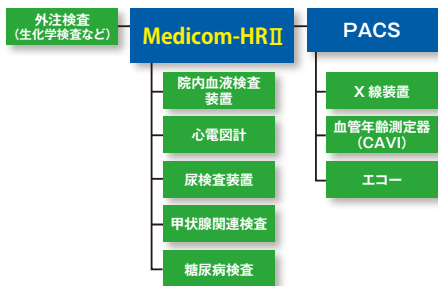
検査会社のシステムとオンライン連携可能な電子カルテの1つがメディコムでした。販売代理店のサポートも期待できたことが選定の動機です。

古垣先生は、院内の検査機器、検査会社と連携したデータ管理を重要視。「検査会社のオーダリングシステムとオンライン連携できることに加え、容易な操作性も好印象でした。近くに代理店のサポート拠点があり、迅速な対応が望めることも大きな理由でした」と強調しています。

導入メリット 1

すべての検査データを一元管理
状態把握や疾病管理に効果大

電子カルテ導入による最大のメリットは、「検査データを一元的に管理できること」と古垣先生は言います。同院では血液検査装置や血圧脈波検査装置、超音波検査装置などを導入して連携するとともに、糖尿病と甲状腺関連以外は検査会社からのデータもすべて電子カルテに一元化しています。「すべての検査結果を一元的に参照・管理できることは、患者さんの状態把握、疾病管理に寄与します。また、検査依頼から結果参照までの時間も短縮し、患者さんの負担軽減にもなります」と高く評価しています。



院内に多くの検査機器を導入するふるがき糖尿病内科医院。外注検査データを含めすべて電子カルテで管理しています。

導入メリット 2

オーダーのシート入力で
検査業務の効率化を実現

糖尿病や甲状腺患者が9割以上を占める同院にとって、検体検査や生理機能検査のオーダーと結果処理にかかわる作業負担は大きい。検査オーダーをセット化したシート入力と検査担当者の画面でのチェックによって、作業負担やミスの軽減が可能になりました。外注検査も検査会社のオーダリングシステムとオンライン化されており、直接送信できます。「検査オーダー作業に加え、検査データのカルテ入力など、数回のクリックでできる点は電子カルテならでは」と古垣先生。



患者さんは毎回何らかの検査を実施するため、オーダーのシート入力は省力化に貢献しています。

導入メリット 3

一覧性の高い時系列表示が
疾病コントロールに貢献

糖尿病コントロールや重症化予防には、検査データの管理が非常に重要。検査結果の時系列表示は一覧性が高く、疾病コントロールには欠かせないと古垣先生は言います。「紙カルテの運用では検査結果を時系列で閲覧するのは困難で、検査ごとに結果用紙もばらばらで管理が大変です。患者さんに説明する際にもカルテ画面を見ながら説明できて、病理解度も深くなると思います。検査結果はプリントしてお渡ししていますが患者さんに好評です。その作業も手間なくできます」。



検査結果の一覧画面。画面を見ながら説明することで、患者さんの理解度も深まります。

※取材日：2013年11月

商品・システム情報を載せたホームページです。ぜひ一度ご覧ください。

panasonic.biz/healthcare/medicom



パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

- 省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO2排出量削減を目指します。
- 新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

●お問い合わせは

パナソニック ヘルスケア株式会社
マーケティング本部 メディコム営業統括グループ

〒105-8433
東京都港区西新橋2丁目38番5号 西新橋MFビル
電話(03)5408-7287(代表)

北海道営業所	電話(011)261-3400(直通)	中部営業所	電話(052)582-6651(直通)
東北営業所	電話(022)267-4110(直通)	近畿営業所	電話(06)6889-3410(直通)
関東営業所	電話(03)5408-7289(直通)	中四国営業所	電話(06)6889-3411(直通)
東京営業所	電話(03)5408-7288(直通)	九州営業所	電話(092)292-7374(直通)

■このカタログに関するお問い合わせは、各営業所までお願いします。
■営業時間：月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)
午前9:00～12:00 午後1:00～5:30

このカタログの記載内容は
2013年12月現在のものです。

NS1025 00-1312 20T